

地盤工学会北陸支部主催 エポコラム Taf 工法の現場見学会が開催されました。

—残置セメントコラム杭の破碎と地盤改良同時施工の実現—

2018 年 11 月 27 日に地盤工学会北陸支部主催において、新潟県加茂市下条地内の「一般国道 403 号三条北道路軟弱地盤対策工事」によるエポコラム Taf 工法の現場見学会が開催されました。

本工事では、地盤改良範囲内に約 10 年以上前に施工された既設深層混合セメントコラム杭が残置されていることから、このセメントコラム杭の破碎と地盤改良の同時施工が可能なエポコラム Taf 工法が採用されたものです。

産官学から約 30 名の方の参加をいただきました。現場見学会に際し、現場事務所にて、設計計画、工事概要、エポコラム工法の概要および動画にて説明した後、現場にてエポコラム Taf 攪拌翼の回転デモや、残置セメントコラム杭の破碎する施工状況を見学いただきました。また、弊社が展開する ICT 管理装置を装備させており、GNSS によるピクチャーナビ、3D 表示のピクチャービューの可視化施工も併せて見学いただきました。



問い合わせ先:小野田ケミコ株式会社 技術営業本部 営業統括部

TEL:03-6386-7035 FAX:03-6386-7022

以上